

LOUIS MALLE'S

Pretty BABY

＊鬼才ルイ・マル監督の感性が鋭くえぐる衝撃の秀作！

夜のとばりに漂い生きる
12才の少女の美しくも哀しい愛の旅



プリティ ベビー

カラー作品

キース・キャラティン
スーザン・サランドン
ブルック・シールズ
アントニオ・ファergus
製作・監督ルイ・マル
ストーリー原案ボリー・プラット・ルイ・マル
脚本ボリー・プラット 音楽ジェリー・ウェクスラー

シネマ・シティ・映画 CLO配給

◆スタッフ◆

製作・監督…………ルイ・マル
脚 本…………ボリー・ブラット
ストーリー原案…………ボリー・ブラット
…………ルイ・マル
撮 影…………スベン・ニクビスト
編 集…………スザンヌ・パロン
音 楽…………ジェリー・ウエクスラー
ピアノ・ソロ…………ボブ・グリーン

◆キャスト◆

ベロック…………キース・キャラティン
ハティ…………スーザン・サランドン
バイオレット…………ブルック・シールズ
マダム・ネル…………フランセス・フェイ
"教授"…………アントニオ・ファーガス
"赤毛ちゃん"…………マシュー・アントン
フリーダ…………ダイアナ・スカーウィッド
ジョセフィン…………バーバラ・スティール

プリティ ベビー



■ルイ・マル監督アメリカ映画初の演出！

ニューオーリンズの赤線で娼婦の子に生まれた一人の少女が、日夜の背徳と淫楽の世界で何を見、何を知り、自分自身にどういう運命を課したのか……。12才の少女がみずみずしい柔肌に濃い化粧を塗って、平然と男たちの腕に抱かれる時、観る者はいい知れぬ衝撃と戦慄に身が震えるのを覚えるだろう。

「好奇心」「ルシアン青春」でルイ・マル監督は、大人の世界に傷つけられ汚されていく少年を深い理解と愛情をもって描いた。

アメリカでつくったこの初のアメリカ映画の中でも今回、彼は同じ「眼」をもって頹廃にまみれて生きてゆく少女を見つめる。ルイ・マル芸術の真髄をみせる傑作として78年度のカンヌ映画祭に正式出品作品として参加した。

ルイ・マル監督はこの作品の映画化について「三年前ほど前、私はふとした機会にアル・ローズの『ニューオーリンズのストーリービル』という本を手にした。1880年代に始まり、1917年に廃止されるまでニューオーリンズの一角に栄えた悪名高い赤線地区の実態を調査したレポートである。著者は当時のストーリービルを知る何人かの生存者にインタビューを行っていたが、その中にバイオレットと名の女の話しがあった。それを読んだその時から私はいつかその話しをもとに映画をつくらうと決心した。その部分はわずか数ページの短いものだったが、ボリー・ブラットと私はそこから『プリティ・ベビー』の台本をつくりあげた。この映画の異様にシヨッキングな場面は決して我々二人の頭で創造したものではなく、すべて当時のストーリービルに実際にあったことが土台になっている。きわめて鮮烈に描かれるこの映画は一つの驚くべき世界を嘘いつわりなく再現した。」と語っている。



パラマウント映画
CIC 配給

■12才の美少女…注目のデビュー作！ タータム・シヨディに続く第三の少女……………ブルック・シールズ

舌をまく演技力に加えて、非の打ちどころない美貌が輝かしい将来を約束する今年一番の年若いニュースターである。

1965年5月31日生まれ。レブロン化粧品店の重役だった父と、モデル出身の母（両親はその後離婚）の間に生まれ、生後わずか11カ月で有名なカメラマン、スカプロの目にとまり、アイボリー石けんのCMに出演。その後もアバドン撮影のゴルゲート歯みがきなど、数え切れぬほどのCMに子役として出演し、年間コンスタントに3万ドルを稼ぐ売れっ子となった。

CM以外ではT.V.M.ビーに出演した事があるが今回、ルイ・マル監督に推せんしたのはCMカメラマンのモリー・ランブレイ。マルはブルックを一目みて、バイオレット役に彼女以外の適任者はいないと確信した。

仕事に追われながらも目下、ニューヨークのレノックス私立中学に在学中で、好きな学科は社会科、フランス語、スペイン語とのこと。また骨とう人形の蒐集に熱中していて、既に100個以上のすばらしいコレクションを持ち、そのいくつかは今回のニューオーリンズ・ロケに彼女のお供をした。

芸能界で育てられたにもかかわらず、ふだんは物静かで、驚くほど行儀のよい女の子である。



近日ロードショー！

特別鑑賞券¥1,000絶賛発売中！
(一般¥1,300・学生¥1,100)の処

新宿武蔵野館 (354)
5670